

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ヒトトキ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日		令和8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心感を持ってヒトトキに楽しく通所し、保護者を含めヒトトキの支援に満足していただいています。	遊びや活動を通して、それぞれのこどもの好きなことや得意なことを大切にしながら、日頃の保護者とのコミュニケーションや情報共有を通じて、こどもの様子や課題に応じた丁寧な支援の提供に努めています。	保護者とのコミュニケーションに加え、職員間でのこどもの様子の共有、客観的な課題の分析を行い、よりきめ細やかで質の高い支援の提供に努めます。
2	ヒトトキの生活空間は清潔でこどもにとって分かりやすく構造化されています。	毎日の清掃、消毒により施設を清潔に保っています。それに加え、パーテーションの活用や2つの指導訓練室の使い分けにより、こどもの活動に合わせ視覚的に分かりやすく、心地よく過ごせる空間づくりに努めています。	必要に応じて絵カード等を用いることにより、こどもにとってさらに分かりやすい空間づくりに努めます。
3	こどもや保護者との丁寧なコミュニケーションを大切に、困りごとや相談等、いつでも気軽にご連絡いただける体制を整えています。	送迎時や面談時の情報伝達や共有に加え、毎月のおたより配信やイベントの周知等、こどもや保護者との丁寧なコミュニケーションに努めています。また、LINEのメッセージ機能の活用により保護者が時間を気にせずに事業所に気軽に連絡をすることができる体制を整えています。	こどもや保護者にとってより分かりやすく必要な情報を把握できるよう、その他の媒体やシステムの活用を検討します。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在実施している法人主催のイベントや親子開放日等に加え保護者同士、きょうだい同士での交流の機会の提供について改善が必要だと思われます。	親子開放日や法人主催のマルシェ等でこどもや保護者が一緒に参加することが可能なイベントは実施してきましたが、保護者またはきょうだい同士の交流といった、家族を対象としたイベントは開催できていなかったことが要因だと考えられます。	家族向けのイベントの実施や、保護者またはきょうだい同士での交流の時間を設ける等、現状実施しているイベントのプログラムの再検討に努めます。
2			
3			